

町

一年

画数 7
筆順 田 町 町

オシ 田 町
クシ 町 ヨウ
まち

成り立ち



「みち」がたてよこにはしっている、ひとのおおぜいすむ「まち」をあらわした字です。

「田」は「田んぼ」の「田」とおなじかたちですが、これは「ひとのすむ「まち」のくかく」をあらわしたもので、「田んぼのくかく」ではありません。

それで、中国語の「まち」のいみのことばとおなじ音の「丁」をくわえて「町」とし、「田」とくべつできるよりにしました。

使い方

▽「町中」にはりつばな「町家」がたちならび、「町外れ」にはちいさな「町工場」がありました。

▽「町立」のがっこうですから、そつぎようしきには「町長」さんがおいでになります。

熟語例

▽町中（町の中）のいえがたくさんあるところ

▽町家（町の中にある家のことですが、とくに「あきない家（商店）」のことをいいます。）

▽町外れ（町のいえがなくなるところ）

▽町立（町は、地方自治団体の一つ。市より小さく、村よりも大きい。その「町が立てたもの」といういみのことばです。）

▽町長（町のけいえいにあたる町のだいひょうしや）

▽町民（町にすむ人）

▽町人（むかし、町中にすんでいた「商人」や「職人」のことで、「ぶし」や「おひやくしよう」にたいすることばでした。）

▽一町（ながさのたんいでは、やく百メートル。めんせきのたんいでは、やく一ヘクター）

天

一年

画数 4
筆順 二 天

オン テン
クシ あめ・あま

成り立ち



ひとのうえにひろがっている「てん」をあらわした字です。ひとがりようてをひろげてたっているうえにせんをかいてあらわしました。

わが国では「天」のことを「あめ」といっていましたが、「天からふってくるみず」のこともやはり「あめ」といいましたので、くべつするために、天を「てん」というようになりました。

「あめ」ということばは、ほかのことばとじゆくごになるばあい、「あま」となります。

天は「しぜん」「ありのまま」といういみ、また「天のかみさま」といういみにつかわれます。

また、「天子（天皇）」のいみにつかわれます。

使い方

▽むかしは「天のかみさま」のことを「天つかみ」といっていました。「天つ」とは「天の」ということです。

▽むかしのひとは、天の川のみずがあめになってふつてくるのだとおもっていたようです。

熟語例

▽天の川（天にある川、といういみでつけられたなまえです。よるのそらに川のようにしろくみえるほしのあつまりで、「銀河」ともいいます。）

▽天下り（天から下りてくる、といういみですが、やくしよで「うえからのおしつけ」のいみにつかわれています。例「天下り人事」）

▽天の原（おおぞらのこと。むかし、天のかみさまがいるとかんがえられていたところ）

▽天性（うまれつき。しぜんの性質、ありのままの性質、といういみのことばです。）

▽天命（①命。②運命。「天のかみさまの命令」といういみで、「命」も「運命」も「天の命令」とかんがえられていたのです。）

▽天覧（天子がご覧になること。）